



# なんよう

No.114  
2024.9.1



佐賀大学経済学部長  
羽石 寛 志

皆様こんにちは。本年4月より経済学部長に就任いたしました羽石と申します。日頃より同窓会の皆様には、多大なご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

簡単に自己紹介をさせていただきますと、私は2003年に佐賀大学に赴任し、今年で22年目を迎えます。赴任当初は医学部との統合があり、翌年には法人化が進行するなど、佐賀大学が大きく変化する時期に在籍しておりました。2013年には3学科制の学部改組が行われ、現在は経営学科に所属し、経営情報論を担当しております。

この20年間で、社会とともに大学や学部も大きな変革を遂げてきました。また、今後も佐賀県内に新たな大学設立の計画が進んでおり、さらなる変化が予想されます。このような状況下で、大学・学部の運営においては、ステークホ

ルダーとの評価や関係性の構築がますます重要となってきています。特に同窓会の皆様との連携は、学部運営において不可欠であり、今後も一層のご協力をお願いしたく存じます。

現代では、情報通信技術の進化により、AIの活用やDX・RPAなどの導入が進み、効率化や省力化が求められています。そうした中、本学部では、「自己を知り、育み、解き放つ実践的な『総合知』の体現拠点」として、経済学・経営学・法学の知識をしっかりと身につけ、複雑な社会課題に対応できる多角的な視点を持つ人材の育成を目指しています。

これからもどうぞよろしく願いいたします。

なお、学部のWebページをリニューアルしました。学部の情報などいろいろと発信するように企画しております。ぜひともご覧いただければと思います。まだまだ発展途上ですが見守っていただければ幸いです。

<https://www.eco.saga-u.ac.jp/>



卒業論文発表会・ゼミ合宿（古湯温泉）



## 令和6年度楠葉同窓会総会を「佐賀大学生協かささぎホール」で開催

令和6年度の楠葉同窓会総会が5月25日(土)16時から佐賀大学本庄キャンパス内の佐賀大学生協かささぎホールにて開催されました。総会では、江口達也楠葉同窓会会長の挨拶の後、令和5年度事業・決算についての報告があり、その後令和6年度事業計画(案)・予算(案)が了承されました。また、総会前には希望者を対象にキャンパス散策も計画されていましたが(都合により中止しました)。総会後は、各部会から最近の動向などについて報告をいただき、引き続き同会場で懇親会が開催されました。懇親会では各支部の方々とお話も弾み、和やかな雰囲気の中での楽しいひとときとなりましたが、話題の中心は支部の活性化でした。お互いに知恵を出し合って改善に取り組んでいきたいと思えます。

【総会】日時：令和6年5月25日(土) 16時～  
会場：佐賀大学生協かささぎホール

### 総会



### 懇親会





## 同窓会フェスの開催について

第1回同窓会フェスが令和5年10月8日(日)に楠葉同窓会、芸術地域デザイン学部同窓会、農学部同窓会の共同主催のもと佐賀駅前交流広場にて開催されました。

コロナ前に行っていたこれまでの楠葉同窓会交流会に代わるものとしてより多くの現役世代や同窓生に興味を持ってもらえるように、自由参加型のオープンイベントとして開催されたものです。

当日はあいにくの雨模様でしたが、400人を超える現役学生や同窓生の参加がありました。また佐賀駅前には人通りも多く、たまたま会場近くを通りがかった一般の方々の立ち寄りも見られ、佐賀大学同窓会を知ってもらえるいい機会にもなっていました。

開催日当日は江口楠葉同窓会会長による高らかな開会の挨拶を皮切りに、大型液晶モニター前のメインステージでは学生によるアカペラの合唱や楽器の演奏などが披露されました。他にも同窓生による中国舞踊のパフォーマンスや経済学部の先生による出張講義もあり、多種多様な出し物に会場は大変盛り上がりしていました。参加した学生からは公共の場でお披露目できてよかった、楽しかったとの声がたくさん寄せられていました。

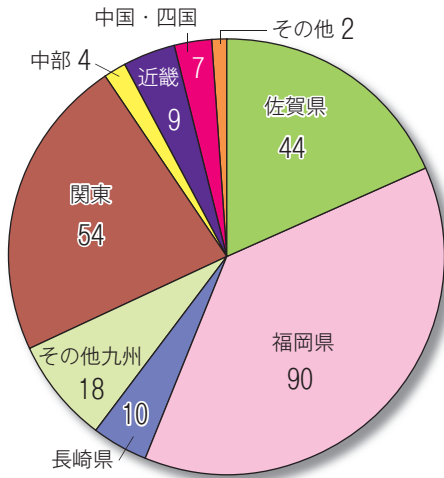
会場を囲むようにテントが張られ、いろいろな体験ブースのほか、コーヒーやパン、農産物などの販売も行われ、こちらもほぼすべて完売になるほどの大変な盛況ぶりでした。

本年は有朋会と佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会にも参加してもらい、第2回同窓会フェスを令和6年11月9日(土)に昨年と同じ佐賀駅前交流広場で開催いたします。現在、各同窓会から実行委員を募り、委員会を中心に開催に向けて着々と準備が進んでいます。昨年の第1回フェスを上回る楽しいイベントになることは間違いないと思います。これを読まれている同窓生の皆様もぜひ佐賀駅前まで足を運んでいただき、同窓会フェスを一緒に楽しんではいかがでしょうか。

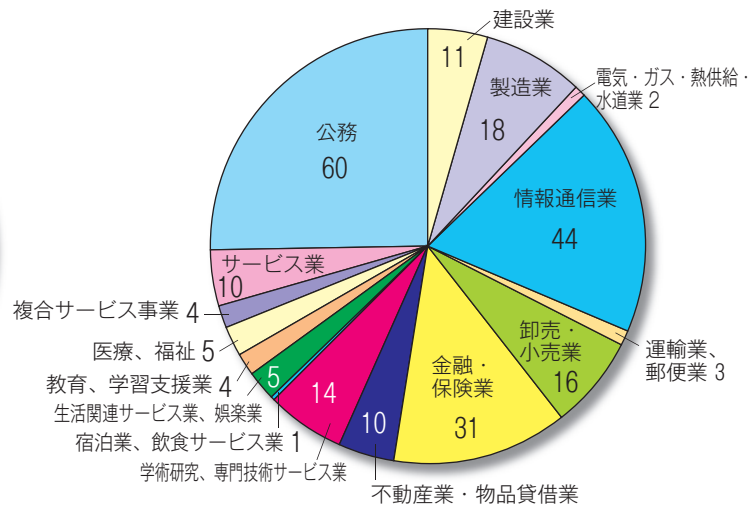


## 令和5年度 経済学部就職状況

地域別就職者



産業分類別就職者



経済学部就職委員長 角田幸太郎

楠葉同窓会の皆様におかれましては、日頃よりさまざまな形で本学部生へのご支援を賜りまして誠にありがとうございます。令和6年度より本学部就職委員長を務めております、角田（すみた）と申します。佐賀大学経済学部には令和5年4月に着任しました。吉野ヶ里遺跡のある旧・三田川町の出身です。私は他大学でしたが、小学校の同級生が平成10年度に3名、本学部に入學し、卒業後は社会人として国や地域に貢献しているようです。

さて、令和5年度就職活動につきまして、経済学部生の就職率は近年では初めて100%を達成しました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが令和5年5月8日から5類に引き下げられたことにより、経済が活性化し、企業の経営状況も回復して人手不足となり、求人は売り手市場の状況となっております。

大学の講義は令和5年度からは対面授業にほぼ戻っていますが、就職説明会やインターンシップは対面での開催だけでなく、コロナ禍の代替手段として導入されたオンラインによる遠隔での開催も便利なものとして定着しました。その結果、コロナ禍後は、学生の就職活動の地域の選択肢が広がったようです。以下に、令和元年度以降の地域別就職者の推移の顕著なデータを示します。

### ◇地域別就職者の推移

地域別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
佐賀県内	63名	63名	58名	46名	44名
福岡県内	95名	81名	86名	85名	90名
関東	37名	33名	40名	52名	54名



地域別で見ますと、福岡県内への就職者数は現状維持であるのに対し、佐賀県内への就職者数は年々減少しています。一方で、関東への就職者数は、この2年間は佐賀県内への就職者数よりも多くなっております。

次に、産業分類別就職者の推移の顕著なデータを示します。

#### ◇産業分類別就職者

産業分類別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公務	43名	54名	39名	41名	60名
情報通信業	33名	23名	35名	34名	44名
金融・保険業	33名	32名	15名	20名	31名
製造業	24名	20名	27名	24名	18名
卸売・小売業	24名	15名	26名	31名	16名

産業分類別で見ますと、本学部では公務員、情報通信業、金融・保険業、製造業、卸売・小売業に就職する学生が多いです。中でも、公務員はこの3年間で大幅に増加し、情報通信業もこの4年間で増えました。金融・保険業はコロナ禍以前の水準に戻りました。一方で、卸売・小売業は年度によって著しくばらつきがあるようです。

昨今の就活情勢は大きく変化しており、インターンシップを実施する民間企業が増えました。インターンシップは学部3年あるいは大学院修士1年の夏季休暇期間中に実施されることが多いですが、学部1～2年生でも参加できるインターンシップも増えつつあり、選考の早期化が進んでいます。本学部就職委員会では主に学部3年生を主な対象として、就職ガイダンスを実施し、さまざまな形で情勢変化の伝達と啓蒙を行っております。就職状況のデータをみますと、多くの学生がこのような環境変化にも関わらず、うまく適応して内定等を得ているようにみえますが、一部の学生は適応に苦しんでいる様子も散見されます。

このような情勢の下、人的な繋がりがより一層重要性を帯びてきています。楠葉同窓会の皆さまには引き続き、本学部生への厚いご支援を賜るべく、心よりお願い申し上げます。

## 第13回ホームカミングデーの開催

【期日】 令和6年10月26日(出)

【場所】 佐賀大学本庄キャンパス

【目的】 佐賀大学の卒業生に母校佐賀大学を訪問していただき、母校の現状を知り、恩師・学友との再会と交流を深め、今後の母校へのご理解とご支援をいただければ幸いです。

【対象】 卒業年等にかかわらず、すべての同窓生と本学の名誉教授

【内容】 大学の近況報告、講演、在校生によるアトラクションなど

※詳細は決定次第、佐賀大学校友会のホームページでお知らせします。

(URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/hp/event.html>)

【お問い合わせ先】

佐賀大学校友会事務局

TEL : 0952-28-8390

E-mail : [koyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp](mailto:koyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp)



第12回佐賀大学ホームカミングデー（令和5年10月28日(出)開催）の様子は、こちらからご覧ください。( <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/hp/hcd/12/> )

## 佐賀で学ぶ意義

経済学部経済学科4年 衛藤 大

## 「在学生の声」

経済学部経済学科4年の衛藤大と申します。今回は貴重な寄稿の機会を与えてくださり、誠にありがたい限りです。感謝申し上げます。

私の「在学生の声」ですが、「地方で学ぶ意義」について書き記したいと思います。

私の出身は、佐賀県三養基郡です。高校は佐賀西高等学校（佐賀大学の前身たる旧制佐賀高等学校の流れを汲む）でした。私は佐賀県で生まれ、佐賀県で育ってきた大学生です。

さて、私の受験期は、ちょうど新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった時期です。当然、都心に出るという選択肢もあったわけですが、私はあえて佐賀に残ることを決意しました。その理由の一つとして、都心に出て行かずとも今後の社会環境は地方に有利に傾くであろうと予測したことが挙げられます。

当時の私の浅薄な目算は、半分当たり、半分外れたと言えるでしょう。学業においては、オンライン化が一気に進展したことで、各種情報へのアクセスが容易にはなったものの、まだまだ壁はあります。一方、就職活動の情報などは格段に得やすくなり、採用面接のオンライン化等も進み、わざわざ就活のために長期間都心に滞在する必要性も少なくなったように感じられます。大学卒業後に都心へ出て行くためのハードルは、下がってきています。地方と都市間の種々の「格差」は、一部ですが、縮まりつつあると言えるでしょう。

ただし、そもそも地方と都心を対比させて考えること自体が、誤りなのかもしれません。地方創生が声高に叫ばれて久しいですが、東京一極集中は進むばかりで、地方へ「成長の果実」が分配されているようには感じられません。そこで、都市一地方という軸で見ることを止め、人々の考え方、価値観をドラスティックに変えていく必要があるのではないかと考えます。そのような価値観の変容のためには、どこにいても、どこで生まれても、平等に種々の「チャンス」が与えられなければなりません。現在、種々の「チャンス」が都心に集中していることから、都心に人が集中している、という見方ができます。この「機会」を公平に配分し、どのような場所で生まれ育っても、社会的栄達が望める社会が構築されることを願っています。

私の将来の夢は、「研究者」です。経済の仕組みや経済システムの素晴らしさを学部では学んできましたが、机上ではなく、外の世界に目を向けると、現実の経済システムには不具合が生じています。私は、これらの不具合を是正し、公正な競争が行われる社会へ向けた提言ができるような研究者になりたいと考えています。乗り越えるべき壁は多いでしょうし、時間もかかるかもしれません。しかし、地方に生まれ、地方で育ってきた者の独自の着眼点で、研究を進めていきたいと思います。そのような、マジョリティではないオリジナルな視点を持つことこそが、「地方で学ぶ意義」の一つであると考えます。





## 卒業生の近況報告



平成28年経済学部 経済学科入学 蘭 舜也

田島株式会社

楠葉同窓会の皆さま、こんにちは。  
令和2年3月卒業生の蘭（アララギ）と申します。  
在学中は、経済学科に籍を置き、中西一先生のゼミにお世話になっておりました。

また、今もなお続く「Green-Nexus」という地域貢献サークルの代表を拝命し、生き物や佐賀の環境の素晴らしさを発信する活動に力を入れておりました。

現在は、サークル活動中にご縁があつて新卒入社した、田島株式会社（旧：田島興産株式会社）にお世話になり5年目になります。

弊社は、地域に根差し100年、個人のお宅の建築・設備（水道やガスなど）、不動産などお一人おひとりの暮らしを作り支える「住まいの総合サービス業」と、法人オフィスビルや公共施設の設備更新など、多数の方がご利用される施設を作り支える「建設業」をワンストップでサービス展開する会社です。その中でも私は「総務管理部企画課」へ配属となり、社内のDX促進とシステム管理、広告とマーケティング、新卒採用担当の役割をいただき仕事に励んでいます。

また、昨年より佐賀伊勢会の第103代事務局に選定され、沢山の機会を与えていただける環境に日々感謝が募る想いです。

社会人になってからというもの、周囲の皆さまの支えがあり、社外での登壇やメディアへの出演などチャンスを多数いただくことがあります。今年は唐津市内の中学校に登壇したり、YouTubeで流れる社外のCMにも出演したりしたようです（笑）。

こうした機会がある度にその都度、私の意識の真ん中にはある考えがあります。

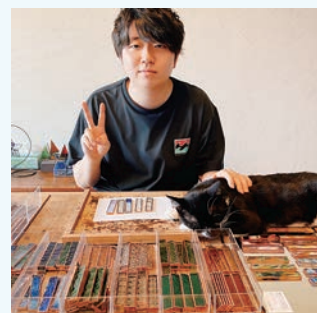
それは、「相手は（心の底で）何を求めているだろうか？」という問いです。

当社ではお客様に対して、目の前に起こっているお困りごとだけでなく、将来を見据えた潜在的なニーズにも目を向け、ご提案することを日々教えていただいています。

この、【相手が潜在的に求めていることにも目を向ける】という教えを守って仕事に取り組んだ結果、沢山のご縁をいただくことができていると感じます。ありがたい今の状況に胡坐をかきたくなく、日々精進いたします。

今後は、生まれ育った佐賀への恩返しとして、「人と資本（お金）が集まる佐賀作り」を生涯のミッションとして掲げ、佐賀に住まう皆さまの暮らしの質が少しでも高まっていくように民間企業の立場から活動して参ります。

最後となりましたが、中西先生をはじめ在学中また卒業後もお世話になっている先生方、そして佐賀大学と楠葉同窓会の皆さまに心より感謝申し上げますと共に今後益々のご発展をお祈り申し上げます。





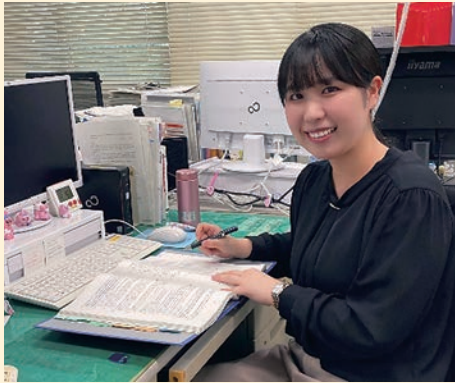


## 卒業生の近況報告



令和2年経済学部 経済学科入学 原口 舞

佐賀大学職員 総務部総務課



楠葉同窓会の皆様、はじめまして。令和6年4月より佐賀大学職員として総務部総務課に勤務しております、原口舞と申します。

まずは自己紹介をさせていただきます。福岡県出身、最近の趣味は好きなキャラクターの商品を集めることで、何か好きになればとことんハマってしまう性格です。在学中は経済学部経済学科に所属しており、特に目立つようなこともせず、勉強もアルバイトも人並みに頑張るような本当にド平凡な女子大学生でした。周りとは少し違うなと思うのは今でも視力が裸眼で1.5あることくらいです。

今回執筆の依頼をいただき、過去の先輩方の素敵な在学中のエピソードを読む中で、私も何か書けることはないかと考えてみましたが、一番に思い出すのはコロナ禍での大学生活です。入学式の中止から始まり全ての講義をオンラインで受け、話したことはあるけど、マスク下の顔を見たことがない人がいるのはよくあることでした。自分が思い描いていたものと正反対の大学生活を送る中で、楠葉同窓会の皆様から経済学部生全員に配られたクオカードに、「頑張れ！」ではなく「頑張ろう！」とメッセージが書かれているのを見て、寄り添ってもらっている気がして心が温かくなった記憶があります。そのクオカードを使って、アルバイトの帰りに自分へのご褒美としてコンビニスイーツを買いました（もちろん参考書も購入しました！本当にありがとうございました）。そしてコロナが落ち着いたと思えば、就職活動！卒論！卒業！といった感じであっという間に大学生活を終えました。

そして4月から社会人として佐賀大学で働き始め、総務課に配属されました。その中でも特に法務の担当を担っており、様々な業務を行っています。

いくつか紹介をすると、学内規則等の校正と改正業務や調査業務などがあります。改正前の校正作業は、現行の規則等と照らし合わせ、矛盾点の有無や表現の仕方の検討などを行います。調査業務については主に文部科学省から依頼が来る調査について、各課からの回答を取りまとめ、最終的な回答を提出しています。調査業務は基本的に私1人で行うものなので、より一層責任感を感じながら仕事をしています。総務課にいと大学がどのような運営をしていてどのように変わろうとしているのかを、全体的に知ることができるので日々勉強しています。社会人になって3か月が経ちまだまだ勉強不足で失敗も沢山しますが、周りの方々の助けを借りながら今日も頑張っています。

最後にはなりますが、担当教員であった張先生をはじめ、在学中に関わってくださった皆様、現在の職場の先輩や上司の方々に感謝申し上げます。楠葉同窓会の皆様におかれましてもこれから暑い日が続きますが、一層のご自愛のほどお祈り申し上げます。



## 神埼地区会に参加して

昭和47年経済学部 経済学科入学 中川 哲也

コロナ禍で3年間中断を余儀なくされた神埼地区会（会長 古賀季夫氏 昭和50卒・経済）が、令和5年9月9日、神埼市割烹『菊水』で開催された。同会は平成27年に地区内の全学同窓生の有志26名で結成されたもので、久しぶりの交流にほとんどの会員が参加されていた。

当日は、4年ぶりに顔を合わせた参加者全員が近況を報告する中で、現在の活動に拍手を送っておられ、その後の懇親会も盛り上がったものとなった。

神埼地区会は今年で結成10年と、歴史は浅いが、約900人の同窓生にアンケートを取りながら、有志が主導して、地区内で同窓生の親睦交流の場を設けられたことに、今後の支部同窓会の在り方として感銘を受けたところである。

ところで、文理33年卒業の前田安久氏にお会いできたのも神埼地区同窓会のおかげである。有田出身で武雄高校卒とのこと。高校の大先輩でもあり、同窓会に矍鑠として参加されていることに、御縁を感じるとともに、年齢に関係なく、まだまだそれぞれの立ち位置で、何かやれると励まされた次第である。



## 筑後支部

昭和58年経済学部 経済学科入学 坂田 智宏

令和5年11月11日(土)、柳川市のランヴィエール勝島で開催された筑後支部懇親会に参加してきました。当日は佐賀市川副町の早津江バス停から西鉄バスに乗車後約25分、柳川市役所前にて下車、その後少し歩いて会場入りしましたが、佐賀からのあまりの近さにびっくり！

参加者全員での写真撮影に始まり、支部長挨拶、来賓紹介、そして兒玉学長による来賓代表挨拶と続きました。懇親会に入り、参加者同士の歓談が進んだのち、「アタマ柔らかクイズ大会」なるアトラクションが開催され、会場は笑いで溢れていました。

フィナーレは恒例の「巻頭言」、実行委員の皆様様の練習の成果が表れた素晴らしい出来栄で、全学の水田会長も飛び入りで踊りの輪に入られるなど、大いに盛り上がっていました。

コロナ禍の影響で5年ぶりの開催となった今回の懇親会、参加者同士がマスクも取って、リモートでは味わえない、互いに顔を突き合わせて近況や大学時代を語りあうことができた素晴らしい懇親会でした。

実行委員の皆様をはじめ参加者の皆様、大変お疲れさまでした。個人的には、来年も参加希望です！



## 令和6年佐賀大学同窓会熊本支部総会に参加して

昭和56年経済学部 経済学科入学 江口 達也

令和6年6月1日(土)17時からホテルメルパルク熊本で開催された熊本支部総会に参加してきました。最初に、平成17年理工学部卒業の本山貴裕さんの会友報告があり、総会、記念写真撮影、懇親会と進みました。前年度は10月に支部総会が開催されたため、ずいぶん間隔が近いなと思っていたところ、例年は春季に開催されていたもので前年度はコロナの影響でイレギュラーだったこと、本来の形に戻ったことの説明がありました。

総会には、来賓の兒玉学長はじめ50名の参加がありました。幅広い年代が参加していましたが、20歳代の若い人たちの姿が目立ちました。懇親会の締めには学生歌「楠の葉」の斉唱があり、私は懐かしく感じましたが、若い人たち向けの企画も必要だなと思いました。

当日は熊本市内に一泊して翌日は市内散策を楽しみました。歴史を感じさせる町並みを歩きプライベートでも再訪したいと思いました。充実した一泊二日をありがとうございます。



## 佐賀大学同窓会東海支部総会に参加して

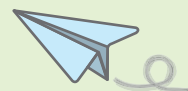
昭和56年経済学部 経済学科入学 江口 達也

令和5年11月25日(土)13時から愛知県名古屋市のデザートレストランpaffパフ名古屋駅店で開催された佐賀大学同窓会東海支部（不知火会）総会に参加してきました。経済、理工、農と文理学部卒業の17名が参加されました。また、兒玉学長にも参加いただきました。総会では支部会長の挨拶、来賓挨拶、事業報告などが行われました。引き続き懇親会が行われ参加者全員から挨拶がありました。東海支部には200名を超える会員がいるそうですが参加者は11名。そのうち9名が60歳以上でした。救いは32歳の会員が参加されていたことです。改めて、若い会員にリピーターになってもらい、輪を広げてもらえるよう同窓会の魅力や意義を高めることが急務だと感じました。今回、東海支部会が昼間におしゃれなカフェで開催されたことは、気軽に参加できる環

境作りの第一歩なんだろうなと思いました。さらに一歩進んで、参加してみようかなと思わせる目玉があればいいと思います。例えば、学生に人気があった名物教授（またはサークル顧問）をゲストに呼んでみるのはどうでしょう。思い付きでもいいのでご意見を聞かせてください。







昭和58年経済学部 経済学科入学 小淵 則子

まずは簡単に自己紹介をさせていただきます。令和5年度から楠葉同窓会の名簿担当として活動している小淵則子と申します。学生時代はラグビー部のマネージャーをして過ごしていました。佐賀大学卒業後、佐賀銀行に就職、東京国際部に配属になり生まれて始めて地元から出ました。小、中、高、大学と自宅から3キロ圏内で生活していたので佐賀から出て初めて地元の住みやすさを痛感しました。地元に戻り、結婚、子育てを終え現在は佐賀大学で事務補佐員として勤務させていただいています。

今年は佐賀県で「SAGA2024国民スポーツ大会」がパリでは「オリンピック2024」が開催されます。スポーツ大好きおばさんとしてはめちゃくちゃワクワクの1年です。10月に佐賀県で開催される第1回国スポの準備も着々と進む中、県庁をはじめいたるところにポスターや開催を告知する看板が貼られ皆さんも目にされているかと思います。全国各都道府県でもコマーシャルされているのでしょうか。選手としては少年を重ねすぎているのでせめてボランティアで大会に参加したいと思い、昨年早々にボランティア登録をしました。しかしなんと県の担当者とのやり取りがラインワークスというアプリをダウンロードしてのもので送られてきたパスワードで中に入っても使い方がわからず返信が来なくなりました。さほど機械音痴ではないはずなのに……一度は断念しましたが、あきらめきれず再度メールで連絡を取り新たなパスワードをいただき再挑戦したもののやはり使い方がわからず担当者との連絡が途絶え、もういいかってことでボランティアはあきらめました(笑)。私、いや私以上の年代の方にはもう少し分かりやすい方法で連絡を取らせてもらいたかったと思いますが、とにかくボランティアとしての参加は叶いませんでした。が応援団として各競技会場へ出向きたいと思っています。

数十年前、私はゴルフ競技で国体の佐賀県代表選考会に出場した経験があります。残念ながら代表には選ばれませんでした(でもシニア国体マスターズでは佐賀県代表に何回か選ばれているんです)。今は大学生などが代表の中心で頑張ってくれていますが佐賀大学には残念ながらゴルフ部はないようです。今後同好会からでも始まってくれないかなと期待しています。私のゴルフ歴ももう35年になりました。今でも楽しみながら続けています。年に一度の佐賀県アマチュアゴルフ選手権が楽しみで、今は8月末の決勝戦に向けて頑張っています。いつか楠葉同窓会でゴルフコンペができるといいですね。

最後となりますが、同窓会の一役員としてこれからも活動のお役に立てるように微力ながら力添えをさせていただきたいと思っています。皆様、暑い日が続きますがどうかご自愛ください。ありがとうございました。

## 令和5年度 事務局日誌

4月10日	楠葉同窓会	会計監査/小会議室	10月7日	全学同窓会	熊本県支部会/ 熊本市「KKRホテル熊本」
25日	楠葉同窓会	第1回楠葉同窓会役員会/多目的室	8日	楠葉同窓会	同窓会フェス/佐賀駅前広場
5月1日	楠葉同窓会	会長と経済学部長との打合せ/ 学部長室	24日	楠葉同窓会	第4回楠葉同窓会役員会/多目的室
19日	楠葉同窓会	会報部会/多目的室	28日	全学同窓会	第12回ホームカミングデー
27日	楠葉同窓会	総会・懇親会/アパホテル	11月11日	全学同窓会	筑後支部会/ 柳川市「ランヴィエール勝島」
6月16日	楠葉同窓会	第2回楠葉同窓会役員会/多目的室	25日	全学同窓会	東海支部会/名古屋市「パフPaff」
7月19日	楠葉同窓会	第1回経済学部協議会/ 経済学部長室	全学同窓会	第31回佐賀県青春寮歌祭/ エスプラッツ	
8月7日	楠葉同窓会	第1回佐賀大学フェス実行委員会/ 多目的室	29日	楠葉同窓会	経済学部との意見交換会/多目的室
	楠葉同窓会	第3回楠葉同窓会役員会/多目的室	12月13日	楠葉同窓会	就職支援/教養教育2号館
中旬	楠葉同窓会	「なんよう」No.113 会報誌送付	1月27日	全学同窓会	大分県支部会/ 大分市「アートホテル大分スカイホール」
9月9日	全学同窓会	神埼地区会/神崎市割烹「菊水」	2月13日	楠葉同窓会	第5回楠葉同窓会役員会/多目的室
23日	全学同窓会	佐大会/グランデはがくれ			
26日	楠葉同窓会	第2回佐賀大学フェス実行委員会/ 多目的室			

# 本部便り

## 会費納入のお願い

楠葉同窓会の運営経費は、会員の皆様からの会費によって賄われています。

会報「なんよう」（年1回発行）をご覧いただければ、県内外の同窓会活動を知っていただけるものと思っております。

身近に同窓生の集まり等もなく、参加する機会がない方にとって、会報やホームページが唯一の接点であり、情報発信を充実していくことで、同窓生とのつながりを維持しようと役員・事務局一同努めております。

しかし、近年、会費納入率が低下しており、同窓会運営も厳しくなっておりますので、どうか同窓会活動の趣旨をご理解いただき、お力添えをお願い申し上げます。

払込取扱票										通常払込料金加入者負担				
口座番号										金額	千	百	十	円
017609										2	5	6	3	5
佐賀大学楠葉同窓会										料	金	備	考	
佐賀大学楠葉同窓会会費を送付します。 ・1年会費 2,000円 ・10年会費 20,000円 ・終身会費 60,000円 ・入学時10年会費を納入された方は、40,000円 勤務先：														
お名前、お住まい										日	冊	印		

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号										金額		千		百		十		円	
017609										2	5	6	3	5					
佐賀大学楠葉同窓会										料	金	備	考						
お名前、お住まい										日	冊	印							

- 〈会費〉 (1) 1年会員…… 2千円 (2) 10年会員…… 2万円  
 (3) 終身会費…… 6万円 (10年会費納入者は4万円)  
 (4) 納入会費6万円に達した時点で終身会員とする

〈納入手続き〉 会費納入の手続きは、上記のゆうちょ銀行、郵便局の「赤」の払込取扱票をご利用下さい。ご不明な点がございましたら、事務局（0952-23-1253）または、ホームページ「お問い合わせはこちら」からご連絡下さい。

## 住所変更などの報告

同窓会会員名簿は、会員と同窓会、会員と大学、会員相互を繋ぐ資料として、また、大学が必要とする広報・統計資料として活用しています。個人情報、同窓会の財産として同窓会事務局で厳重に保管・管理を行います。

変更があった場合は、氏名、入学年度、住所、電話番号、勤務先を明記して、下記事務局に、電話・FAX、メールまたは、同窓会ホームページ「お問い合わせはこちら」からお知らせして下さい。



## 編集後記

今年長男が中学生となり、バスケットボール部に入りました。佐賀アリーナで観戦したバルナーズの試合がとても面白かったらしく、自分もやってみたく思ったそう。土日になるとバスケットゴールがある公園に行って一緒にプレーしようとせがまれ、重い腰をあげてやってみると、これがまたなかなか面白い。私のほうがはまってしまい、結局自宅にバスケットゴールを買ってしまいました。仕事が早く終わった日などには長男に声をかけフリースローや一対一の勝負を楽しむようになり、家で過ごす時間がとても楽しくなっています。最初は負けることのなかった勝負も最近は勝ったり負けたり。ドリブル技術に関してはもはや到底かありません。始めて3か月でこの成長ぶり。驚かされるばかりです。

中島 誠一郎（経済・平8入）

発行 佐賀大学楠葉同窓会  
 佐賀市本庄町 佐賀大学菱の実会館内  
 TEL 0952-23-1253 FAX 0952-25-5700  
 E-mail : dousoukai@sadai.jp

発行者 江口 達也（経済・昭56入）  
 編集代表者 中島誠一郎（経済・平8入）